

豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一・六・六
Tel: 三四・四七二二
毎週一回発行

大村市議、文科省に要請行動 教室へのエアコン設置の促進を

日本共産党愛知県委員会は8月10日、小中学校への普通教室エアコン設置を含む学校施設改善事業の促進を求めて国会を訪れ、文部科学大臣あてに要請書を手渡しました。この要請行動には、本村伸子衆院議員と須山初美参院愛知選挙区予定候補が参加。



文科省の官僚に要請する大村市議 8/10

鷲野、下奥両愛知県議とともに、大村よしのり豊田市議も参加しました。文科省の文教施設企画部施設助成課の担当者が受領し、要請に対応しました。

要請の中では、豊田市で小学1年生の児童が熱射病で死亡するという痛ましい事故を繰り返してはならないと、普通教室エアコン設置を含む学校施設改善事業の促進を求め、こどもの命と健康をまもる予算の確保を強く要請しました。

愛知はエアコン設置率35・7%にとどまっています。大村秀章知事はエアコン設置などに国が補助をする制度に県内学校が申請したにも関わらず1校も認められなかった、と述べています。要請団は、学校施設環境改善交付金の総額のパイを広げ、自治体から寄せられるエアコン設置のすべてへの補助を予算化するとともに、耐震改修やトイレ洋式化を併せた予算の確保を強く求めました。また、エアコン設置の補助基準についても、国が

3分の1助成するとしていながら、実際には5分の1になっている実態も訴えられました。文科省の担当者からは、財務省との予算折衝の中で、「設置単価を安く見積もって予算総額が調整されている」実情も話され、国会での予算案に対する追及の必要性も浮かび上がりました。要請団からは、文科省自身が学校環境衛生基準を改定して定めた教室の室温(17度から28度)を超える現状が多いため、国としてのエアコン設置を指導する通達や指針を出すべきだと迫りましたが、あくまで自治体の設置責任だと答える事に終始しました。

党愛知県委員会として、エアコン設置に対する愛知県としての補助を要請した際、県当局は「市町村ごとの設置率や設置状況について公表は難しい」と答えていましたが、今回の文科省要請の中では、「国として、全国の市町村の状況は調査して承知しているので、本村議員のところ届けます」と答えました。各省庁では、来年度予算の概算要求をまとめている時期ですが、今回の要請をもとに、小中学校の教室へのエアコン設置をはじめ、学校施設の改善がすすむ大幅な予算拡大が求められます。

「住まいと市民の暮らし」 住みよい公営住宅の会が講演会

住みよい公営住宅の会が8月12日、2018年総会と講演会を開催しました。

総会では、昨年の公営住宅に関する独自のアンケート結果報告と、市への要請・懇談の活動の紹介、今後の取り組みについて話し合われました。今後、住宅の見学など計画を検討していきます。

講演会は、「公営住宅における居住支援について」と題し公益社団法人愛知共同住宅協会理事の杉本みさ紀弁護士よりの講演がおこなわれました。



(公社)愛知共同住宅協会では、アパートの大家さんの無料電話相談「見守り大家さんヘルプライン」の取り組み(県委託事業)がおこなわれています。

(フリーダイヤル)0120・279・083

大家さんが住人の異変に気付いた時、電話による相談の体制をとっており、早期に対応できるしくみです。

公営住宅での支援では、1人暮らし高齢者・障がい者世帯の暮らしの支援、家賃滞納で退去した後の生活維持の支援などの具体的な事例から、住居と福祉の連携・一体的な支援が求められていることが話されました。

参加者からは、公営住宅の入居待ちが解消されない中、民間アパート借り上げ事業についてや、県営保見住宅の空き部屋問題、雇用促進住宅の廃止・米国系の不動産会社への売却後の様子などが話されました。

参加者からは、身近なようであり聞く機会の無い話が聞けて参考になったとの感想が寄せられました。

大林町内の県道で自転車事故 道路改善、県から回答が

大林町の県道本地駕鴨線で一部に安全防護柵が、緊急対応で設置されました。

これは高齢者が6月10日に自転車転倒し溝に落ちてケガをしたのに対して、6月21日に大村よしのり市会議員と本多のぶひろ共産党豊田市委員会事務局長の連名で、

県豊田事務所へ改善要望書を提出して実現しました。県事務所の素早い対応でした。

今回は緊急で部分的なものであり、この路線は他の部分も危険箇所が多くあるので、周辺住民の意見も聴いて引き続き改善を要望していきま



右が6月10日時点で、左が現在

原水爆禁止 世界大会・報告

原水爆禁止世界大会が、8月2日から9日まで、広島、長崎でそれぞれ開催されました。今年の大会には、豊田市から子どもさんもふくめて5名が参加しました。



広島大会に参加した豊田からの代表

大村市議は、2日〜4日の国際会議から9日までの全日程に参加。世界の平和団体の活動家や核兵器禁止条約に熱心に取り組む国の政府代表とも意見を交わしました。特に、国連の会議で核兵器禁止条約成立のリード役を果たしたオーストリア、アイルランドの軍縮大使との意見交換では、核兵器禁止条約の批准国を増やすために、戦略的な

豊田から5人の代表が参加 核兵器禁止条約の発効めざして議論

アプローチを工夫する必要があり、という大村氏の提案に対して、各政府代表からは、核兵器の非人道性を訴えてきたが、市民社会からも働きかけを強める必要があるとの意見が交わされました。



左から、オーストリア、アイルランドの政府代表

今年の原水爆禁止世界大会の大きな特徴は、核兵器禁止条約の採択から1年、条約発効にむけて各国の世論と運動をどう前進させるかという論議が深められたという事でした。併せて、情勢の激動を受けて、朝鮮半島の非核化の実現にむけて議論を深める事になりました。大会では、青年の参加が非常に多く、平和運動の次代を担う決意も語られました。



長崎大会で発言する高校生のみなさん

豊田市議会9月定例会の日程

◆会期予定

- ・開会～8月31日(金) ・閉会～9月25日(火)
- ・一般質問～9月3日～5日。

大村市議、根本市議の質問日程が決まりましたら、次回の豊田民報でお知らせします。

議会傍聴に、ぜひお越しください。